



おおぎみ



広報 No.262

KOHO OGIMI 2017年1月1日

大宜味



たくましく育つ子
鶏口となるも牛後となるなかれ

日時: 12月8日
撮影場所: 新生・大宜味小学校
撮影: 久高 将和(サン・フォトス)

平成29年 村長年頭のあいさつ



新年あけましておめでとうございます。村民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

昨年、村政各般にわたり皆様の温かい御支援・後協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

振り返りますと、本村にとって大切な節目の年となり、最重要長期計画であります「大宜味村第五次総合計画」を策定し、村づくりの柱に『教育・歴史文化の輝く健康長寿村』を将来像として掲げ、今後十年間の基本構想に基づく施策がスタートした年となりました。

十月に開催されました第六回世界のウチナアンチュ大会大宜味村出身者交流会においては、世界各地から五十七名もの村出身者が集い、多くの人材が世界で活躍されていることを誇りに感じるとともに、「人材を以て資源と為す」の言葉を改めて実感しております。

結の浜に新設された大宜味小学校・大宜味中学校では、子ども達も新たな環境に馴れ、より良い教育環境の下、のびのびと勉学や部活動で頑張っております。特に小学校におきましては、長い歴史の中で培われてきた四小学校在統合という変革の時代として、これまで小規模であったことのメリットやデメリットを踏襲し、それぞれの地域の特色を継承しながら学校教育がスタートされています。この充実した教育環境と施設を活用し、学校教育はもちろんのこと、北部地域の拠点として、生涯学習などによる地域活性化を図ってまいります。

やんばる三村が「やんばる国立公園」として指定され（九月十五日環境省）、今後、平成三十年度には「世界自然遺産登録」を目指しています。その取り組みの根底にあるものとして、先祖代々から受け継がれてきた豊かな自然環境を、現代の世代まで大切に守ってきてくださったおかげであり、今後ともその環境を地域の皆様と共に次世代に繋げていく施策に取り組んでまいります。

地域での課題を整理する中で、空き家の利活用に向けた取り組みも進め定住人口及び交流人口の増に繋げる取り組みを行います。結の浜余白地や学校跡地の利活用と共に、企業誘致を積極的に行い、総合的に連携した観光PRと農業振興、そして安心した福祉の確立による地域活性化へ取り組み、職員一同、心を一つにして、本村の発展と村民の皆さまの福祉の向上に最大限の努力をしていく所存でございます。

また、「大宜味村第五次行政改革」の大綱も策定され、年度末に向けて基本計画策定へ取り組んでおり、行政サービスの質の向上を実践してまいります。本年も、昨年同様、ご支援・御協力を賜りますようお願い致します。

結びに、村民の皆さま方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のあいさつと致します。

平成二十九年元日

大宜味村長 宮 城 功 光



平成29年 議長年頭あいさつ

新年あけましておめでとうございます。
村民の皆様には平成二十九年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、四小学校が統合され新生大宜味小学校が開校し、大宜味中学校が同じく結の浜へ移転し新たなスタートしました。また、やんばるの森が国立公園に指定され、今後は世界自然遺産登録へと期待が膨らんでおります。それから、旧大宜味村役場が国の重要文化財に指定されました。表彰面では前村長の島袋義久氏の叙勲表彰や、芭蕉布事業の桃原秋子氏の厚生労働大臣表彰と輝かしい一年でありました。五年に一度開催されている「世界のウチナーンチュ大会」で、大宜味村主催の歓迎会では海外から五十七人のイギミンチュが参加し交流を深めました。

さて、国内においては、またしても地震が熊本県で発生し、多くの犠牲者が出ました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災地の一日も早い復興を願います。県内においては、米軍機のハリアー及びオスプレイの墜落事故が相次いで発生しました。本村議会は事件に関する意見書と抗議決議を全会一致で議決し関係機関へ要請及び抗議をした。

議会の役割は予算や条例などの議決のみではなく、国や県の動向にも注視しながら、村民の声を行政に反映させなければなりません。執行機関と互いに切磋琢磨しながら、複雑多様化する社会に対応し、村民の皆様の負託に応え大宜味村の抱える諸問題を解決するために、議会としても全力を尽くしてまいります。

今年は大宜味村議会としては初めての住民懇談会を予定しております。是非、村民多数の参加を頂き今後の大宜味村について忌憚のないご意見を拝聴できればと考えておりますので、村民の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本村の益々のご発展と村民各位の一層のご健勝とご多幸を祈念いたします。新年のご挨拶と致します。

平成二十九年元日

大宜味村議会議長 平良 嗣 男



2016 大宜味村 10 大ニュース

4小学校100年余りの歳月で閉校、新生・大宜味小学校開校、大宜味中学校移転



「大宜味村役場旧庁舎」国指定重要文化財(建造物)に指定へ答申



大宜味村役場旧庁舎は、大正14年に完成し、国頭郡建築技手の清村勉氏が設計を手がけ、施工は金城組が請け負い、棟梁である金城賢勇氏をはじめ、大宜味村饒波出身の大宜味大工が建築に携わりました。これまで県指定有形文化財(建造物)であった同庁舎は沖縄県内における最初期の鉄筋コンクリート造建築で、現存する最も古い建物です。役場庁舎としては全国的にも先駆的な事例であることや沖縄県における鉄筋コンクリート造建築の普及発展を理解するうえで、高い価値を有していることから、国指定重要文化財の建造物として、10月21日に国の文化財審議会から文部科学大臣へ答申されたことに伴い、諸手続きを経て指定されることとなります。

世界自然遺産を目指し「やんばる国立公園」指定



全国で33番目となり県内では1972年の西表石垣から慶良間諸島に次いで3番目となる国立公園として、環境省は9月15日、国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広がる沖縄本島北部地域を「やんばる国立公園」に指定しました。指定区域は国頭、東、大宜味村のやんばる3村にまたがる陸域1万3622ヘクタールと海域3670ヘクタールで構成され、非常に多様な生物が生息することで知られていて、北部3村の合計面積は日本全体の0.1%以下にもかかわらず、国内で確認されている種の全体数に対して、鳥類の約半分、在来のカエルの約4分の1が確認されています。環境省は今回の指定区域を含む「奄美・琉球」について最短で2018年の世界自然遺産登録を目指しています。

「辺土名高校サイエンス部」全国大会で優秀賞



8月の全国高等学校総合文化祭で辺土名高校サイエンス部が文化庁長官賞(優秀賞)を受賞しました。同文化祭は、各都道府県代表高校生による芸術文化活動の文化の祭典で規程19部門の舞台発表と展示発表の他、開催地独自の協賛部門が5日間の日程で繰り広げられました。その祭典の自然科学部門のポスター(パネル)発表で河川班の新垣夏実さん(3年)と金城実希さん(3年)が「オキナワヒゲナガカワトビケラ」という水棲昆虫の採集調査を発表し、文化長官賞を受賞しました。また、同部門の研究発表(生物部門)で「クロサギ」の体色を発表した奥間樹生さん(3年)と神山知紀さん(3年)は奨励賞を受賞しました。

スポーツで躍進! 大宜味中学校



2016年も様々な生徒の活躍がありました。10月に石垣市運動公園にて第58回沖縄県中学校陸上競技大会が行われ、大宜味中学校の吉本恭さん(3年)が男子棒高跳びで3m70cmの記録で優勝しました。同大会には、男子1年4×100mに平良悠翔(1年)さんが決勝まで出場しました。その他にも、第58回沖縄県中学校ソフトテニス競技大会において、福地嬉楽璃さん(3年)と嵩原咲輝さん(3年)が個人の部で3位となり、九州大会出場。8月の第26回知花杯中学校ソフトテニス大会においては、山城樹さん(大宜味中3年)が優勝(ペア、玉城中3年、座波)、福地想楽さん(1年)と花田悠馬さん(1年)ペアが3位と輝かしい結果を残しました。

「現代の名工」に桃原秋子氏



厚生労働省は、伝統芸能や工業技術などで優れた技術、業績を持つ160人を卓越した技能者（現代の名工）に選びました。11月に東京で開催された表彰式では、沖縄県内4人の内、織布工の桃原秋子さん（喜如嘉）が表彰を受けました。桃原さんは、芭蕉布の原木を的確に見極め、良質の繊維を採取する技能に長け、結びを行う卓越した技能の他、「喜如嘉の芭蕉布保存会」の副会長として後進の指導・育成や業界発展に尽力しているとして認められました。12月17日には、受賞祝賀会が行われ、220人以上の方が喜びを分かち合いました。

島袋義久氏「旭日双光章」受章



11月7日、沖縄県知事公舎において、叙勲の伝達式が行われ、県内の平成28年秋の叙勲受賞者は7名おり、大宜味村からは島袋義久氏（字塩屋、元大宜味村長）が勲記・勲章の伝達を受けました。叙勲に国家又は公共に対し功労のある者として勲章を授与されている主な民間分野のものなどがあります。島袋義久氏は、公選歴3期12年、審議会歴10年、公務員歴41年、団体歴11年の長きにわたる功績が称えられ、「旭日双光章」を受章されました。

世界のウチナンチュ大会「大宜味村出身者歓迎会」



5年に1度の祭典「第6回世界のウチナンチュ大会」が開催され、村では、この大会に参加した本村出身者を歓迎するため、10月28日に「大宜味村出身者歓迎会」を村農村環境改善センターで開催し、国際親善交流を行いました。同交流会では、海外6カ国から計57名。そして、村民、親類・関係者147名の参加があり、思い出話や、初めて訪れる自分のルーツの地に感慨深げでした。その他にも、7月に八重山一心会青年会が来村し、8月には宮城功光村長が「沖縄県人ペルー移住110周年」と「ブラジル沖縄県人会90周年」の祝典に参加しました。また、多くの村出身者が集まる「大宜味一心会親睦大運動会」は第50回を迎え、村外海外との絆を再確認できる年となりました。

「結の村大宜味物産・観光と芸能フェア」大盛況



大宜味村の農産物や海産物、地酒など村特産品の他、工芸品の展示即売、コンサート、芸能公演を一堂に集めたPRイベント「結の村大宜味物産・観光と芸能フェア」が9月30日から10月2日の3日間、タイムスビル（那覇市）にて開催されました。初日のオープニングから、村民や郷友会など多くの方が駆けつけてくれました。約6,000人が来場し、大宜味の魅力を満喫していました。

その他 主な出来事

- 平南川駐車場オープン（4月）
- 子どもから老人までの居場所づくり6字で食堂オープン（4月）
- 国頭地区行政事務組合のごみ焼却施設「やんばる環境センター」完成（6月）
- 琉球大学・名桜大学サテライト大宜味キャンパス開校（7月）
- 子どもの居場所づくり「ぶながやっ子ハウス」オープン（8月）
- 大宜味村青年団協議会野球とバスケットボール全国大会出場（11月）

結の浜に避難路完成



12月22日、結の浜地区避難路が完成しました。結の浜地区は外海と面しているため、地震による津波発生を想定し、同地区の安心安全の確保を目的として、短時間で安全な高所へ避難するための避難路の整備を行いました。避難路は2ヶ所あり、南側の避難路は、現在整備工事中（3月末完成予定）の一時避難広場までの距離が180mで204段あり、北側は240mで242段あります。11月には、大宜味小・中学校裏門前に村内3機目の信号機が設置されており、避難時には横断歩道を利用し、交通面でも安全な避難が可能となっています。

上原アカシツタイ湧水の取水に関する問題について

平成28年12月1日に県内新聞紙上に掲載されました、大宜味村企業支援賃貸工場への上原アカシツタイからの取水に関する「無断使用」とされる報道問題について、村民の皆様へ経緯及び村議会一般質問での答弁を踏まえて、状況と今後の方向について報告させていただきます。

まず、取水を取り巻く事業について、平成23年度沖縄北部活性化特別振興事業(国補助事業)を活用し、村の課題であります産業の振興から雇用の創出、定住人口増の課題解決のため、上原のアカシツタイの湧水を活用した「大宜味村企業支援施設整備事業」計画されました。

計画立案にあたっては、昭和50年代に村の簡易水道が整備されるまで、長い歴史の中で活用されてきていたもので、その後、利用されなくなってきたものですが、上原区の貴重な財産ということを尊重し、上原区部落常会においても説明を行い、平成24年7月7日には、事業説明の中で、「湧水利用」「土地の使用」「起工承諾」「作業人の立入」「ポンプ小屋改修」についてのお願いも含めて行わせていただき、その場において区長の計らいにより合意の回答を得られたことで、上原のアカシツタイからの導水管敷設事業の設計業務に着手。

また、会の中では「見返り事業等の条件」についても意見交換がなされ、上原区で意見をまとめて条件提示し、その後に契約行為を行うということになりその会は終了。平成25年2月2日に上原区公民館にて事業の進捗状況説明と「見返り事業等の条件」について協議を行い、その後においても調整が図られてまいりました。平成28年1月12日にも、上原区公民館にて村長以下担当課職員と上原区民と「見返り事業等の条件」についての協議が行われましたが、未確定のまま継続での懸案事項となっております。そのような中で、平成28年11月8日付け、上原区長から「アカシツタイ湧水池の原状回復について(通告)」があり、12月1日の新聞記事掲載となっております。

また、地権者に関しましても、導水施設を整備するための承諾願いを平成24年9月から開始し、平成25年2月20日に上原区を除く全ての土地関係者からの承諾書をいただいております。湧水池に隣接する土地の地権者に対しましては、土地購入での対応となり、近隣地価での金額により提示して平成25年2月20日に承諾書をいただいたものです。年度内での手続きが間に合わないことが平成26年度明けの6月補正での対応をすることで調整がされておりましたが、補正後に、手続きを進める連絡をした後、数億円もの要求がありその後、数千万円の金額要求と原状回復を求められ現状の報道に至っております。

当時からこれまで、契約書は確かに交わされていませんでしたが、経緯の中で、上原区及び地権者への説明とともに合意を図り、進められてきた事業であることを申し添えておきたいと思っております。

第9回大宜味村議会定例会一般質問での村長答弁から引用(平成28年12月12日)

上原区長から原状回復を求められていることについて、村長から、村が上原区の旧水源地、アカシツタイの湧水を契約せずに取水との記事報道について、「村民や郷友会の皆さんにご心配をかけたことに対し深くお詫び申し上げます。」と冒頭で挨拶をし、事業計画からこれまでの経緯について時間をかけ説明を行いました。

今後について、企業支援賃貸工場へは安定的な水の供給が必要であることから新たな水源地の確保の調査を行い、新たな水源地が確保整備されるまでの間の使用について、地域振興の観点からお願いを申し上げます。」と答弁しました。

平成29年度 大宜味村職員採用予定候補者試験募集案内について

下記のとおり保育士職員の試験を実施します。

試験日：平成29年1月29日(日)

試験会場：大宜味村役場

受付期間：平成28年12月19日(月)～平成29年1月20日(金)

試験区分	採用予定数	年齢・学歴・資格・要件	試験方法等
保育士試験	若干名	①昭和52年4月2日以降に出生した者 ②保育士資格を有する者及び幼稚園教諭両方の資格を有する者(平成29年3月31日まで資格取得見込みの者) ③日本国籍を有する者 ④自動車運転免許を有する者 ⑤大宜味村内に住所又は本籍を有する者又は直系尊属が大宜味村内に住所又は本籍を有している者	試験方法 1 作文 2 面接 3 書類選考

※詳細につきましては、大宜味村役場総務課にて配布の募集案内又は村HPの案内をご覧ください。

【お問い合わせ先】 大宜味村役場 総務課 ☎0980-44-3001



平成29年度

保育所(塩屋・喜如嘉)

入所申込について

◎申込受付期間…

平成29年1月10日(火)～20日(金)
9時～17時まで(※12時～13時は除く)

◎申込対象…

0歳～就学前の乳幼児

◎申込窓口…

大宜味村役場 住民福祉課



◎申込提出書類

(書類は役場住民福祉課または各保育所にあります)

- ①利用申込書
- ②申告書
- ③家庭で十分な保育が出来ないことを証明する書類(雇用・内職・自営・出産・病気・看護・求職活動等の証明書)
- ④対象児童の健康診断書(新入児のみ…特に用紙の指定なし)
- ⑤平成28年度住民税課税証明書(平成28年1月1日時点で住民登録されていた市町村役場にて発行)
*世帯を同じくする幼児の扶養義務者全員のもの(祖父母も含む)
- ⑥同意書

※兄弟姉妹で入所申込みを希望される場合は、③・⑤・⑥は一部だけの提出で結構です。

※⑤について、大宜味村立幼稚園へ入園申込みをされる兄弟姉妹がいる場合は、同じ書類で活用できます。(幼稚園用と保育所用に2部準備する必要はありません。)

【お問い合わせ先】 大宜味村役場 住民福祉課 ☎0980-44-3003

平成29年度 大宜味村立大宜味幼稚園 入園申込について

対象幼児：(1)村内に住所を有する者
(2)平成23年4月2日～平成25年4月1日までに出生した幼児

提出書類：(1)幼稚園申込書 (2)幼児の住民票謄本1通 (3)幼児の健康診断書
(4)同一世帯の課税証明書

募集期間：平成29年1月10日(火)～1月20日(金)

【受付及び問合せ先】
大宜味村教育委員会 ☎0980-44-3006

労働契約法に基づく「無期転換ルール」への対応について

～厚生労働省では、各企業における無期転換ルールへの対応に向けた準備を呼びかけています～

無期転換ルールについて

労働契約法の改正により有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたときに、労働者の申込みによって企業などの使用者が無期労働契約に転換しなければならないルール（無期転換ルール）が導入されています。

有期労働契約で働く人の約3割が、通算5年を超えて有期労働契約を繰り返し更新している実態にあり、その下で生じる雇止めの不安の解消が課題となっています。

無期転換ルールは、こうした問題に対処し、働く人が安心して働き続けることができる社会を実現するためのものです。

○支援策1・・・先進的な「取組事例」の情報発信

積極的に無期転換への取組を行っている先進的な取組事例を厚生労働省Webページへ掲載し、企業の皆様・労働者の皆様の参考にしていただいています。

円滑な無期転換

検索

○支援策2・・・キャリアアップ助成金

厚生労働省では、有期契約労働者、短時間労働者、派遣労働者といったいわゆる非正規雇用の労働者の企業内でのキャリアアップなどを促進するため、正規雇用等への転換、人材育成、処遇改善などの取組を実施した事業主に対する助成制度として、キャリアアップ助成金制度を設けています。

（キャリアアップ助成金の活用にあたっての要件等については、以下のWebサイトで確認いただけます。）

キャリアアップ助成金

検索

【お問い合わせ先】 沖縄労働局 雇用環境・均等室 ☎098-868-4380



労働安全衛生法に基づく平成29年1・2月講習会のご案内

(一社)沖縄県労働基準協会

講習会名	受講料	定員	日時	会場	備考
フォークリフト 運転技能講習	¥45,900 (テキスト代込)	20名	学科 1/30(月) 9:00~18:00 実技 31(火)~2/3(金)4日間 9:00~17:00	学科 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) 実技 ネオパークオキナワ (名護市宇茂佐の森5-2-7)	最大荷重1t以上のフォークリフトの運転業務 (道路上の走行を除く)
小型移動式クレーン 運転技能講習	免除無し ¥27,565 (テキスト代込) 一科目免除有り ¥25,405 (テキスト代込) 二科目免除有り ¥23,245 (テキスト代込)	40名	学科 2/21(火) 9:00~17:00 2/22(水) 9:00~17:00 実技 23(木)または24(金) 9:00~18:00	学科 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) 実技 ネオパークオキナワ (名護市宇茂佐の森5-2-7)	吊り上げ荷重1t以上5t未満の小型移動式クレーンの運転業務(道路上の走行を除く) ※実技は23日(木) 24日(金) どちらか1日(申込順で組み分けをします)

※申込は先着順の受付とし、定員になり次第締め切らせて頂きます。
 ※受講者が少ない場合は、中止又は延期になる場合があります。予めご了承下さい。
 ※講習規定により遅刻、早退、欠席者は失格となりますのでご注意ください。
 ※顔写真2枚(縦3cm×横2.4cm)必要となりますのでお申し込み時に提出して下さい。
 ※お支払い頂いた受講料は、払戻しは出来ませんのでご了承下さい。

※受講申込随時受付中※

ホームページからもご覧になれます。検索は『沖縄県労働基準協会』で！

【お問い合わせ先】

(一社)沖縄県労働基準協会 北部支部
 名護市宇茂佐の森5-2-7(北部会館4階)
 TEL 0980-54-4700
 FAX 0980-52-7004



平成28年
大宜味村むらづくり
応援寄附

	11月分	累計(1~11月)
件数	746件	3,034件
金額	14,431,576円	58,866,576円

県内外より本村にご寄付頂き心より感謝申し上げます。

満1歳お誕生日おめでとう!!
(タンカー祝い)
Happy Birthday 世界にたったひとつのスマイル!! Happy Birthday
1歳の誕生日の子どもたち(1月生まれ)



高澤 良武くん (塩屋) (平成28年1月4日生)
濱元 千莉ちゃん (津波) (平成28年1月26日生)

村の人口
11月末現在

男 1,637人(-2)
女 1,517人(±0)
計 3,154人(-2)

世帯数 1,659世帯数(-1)
出産 2人 転入 8人
死亡 3人 転出 9人

※注()内数は対前月比

平成29年度 県外学生寮募集について

募集期間:平成29年1月5日(木)~平成29年2月8日(水)

対象:沖縄県内に住所を有する者の子弟で、県外大学(専門学校等を含む)に在学又は入学を予定している者。その他詳しくは、募集要項、ホームページをご確認ください。

募集人数:南灯寮(男子寮 東京)31名程度
冲英寮(女子寮 東京)14名程度
大阪寮(男子寮 大阪)12名程度

【お問い合わせ先】
(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団 総務課
☎098-942-9212 <http://www.oihf.or.jp/>

1月

January February
1月1日~2月10日

大宜味村カレンダー



1日 元日	22日
2月 振替休日	23日
3火	24火 ◆「体験の翼」事前学習会③
4水 ◆村成人式 官公庁仕事始め	25水
5木 ◆区長会 ◆村民新春の集い	26木
6金 ◆第3学期始業式	27金
7土	28土 ◆第23回国頭地区PTA研究大会(大宜味村) 旧正月(春節)
8日	29日 ◆第31回大宜味村駅伝競走大会(結の浜)
9月 成人の日	30日
10火	31火 ◆「体験の翼」事前学習会④ ◆こころの健康相談(旧法務局)
11水 ◆新春ターブクマラソン・駅伝大会(喜保)	2月 February
12木	1水 ◆区長会
13金	2木
14土 ◆第26回大宜味村産業まつり~15日 ◆大宜味村健康と福祉まつり~15日	3金 ◆乳幼児健診
15日	4土 ◆沖縄一周市郡対抗駅伝大会~5日
16月	5日 ◆大宜味村教育の日 ◆小中一斉授業参観日 ◆村学力向上推進実践報告会 ◆大小きらめき発表会、大中くがに一発表会
17火	6月 振替休日(大小・大中)
18水 ◆新春マラソン&駅伝大会(塩保)	7火 ◆「体験の翼」事前学習会⑤
19木	8水
20金 ◆村健康運動教室(旧大宜味小学校体育館)	9木
21土	10金 ◆「体験の翼」西会津町訪問~13日

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。

村内アレコレ

「第5次大宜味村行政改革大綱」答申

11月22日、大宜味村行政改革推進委員会(平良森雄会長)は平成28年度からの4年間、村の行革基本計画となる「第5次大宜味村行政改革大綱」を宮城功光村長へ答申しました。行政改革推進のための主要事項は下記の7つとなっています。



- (1) 事務事業・組織の見直し、定員管理の適正化
- (2) 給与・報酬及び諸手当等の適正化
- (3) 民間委託の積極的な活用・公共施設の効率化な運営
- (4) 財政の健全化
- (5) 開かれた村政及び情報化の推進
- (6) 職員の意識改革及び人材育成(人事評価制度)
- (7) 村と県の適切な役割分担

特産品で交通事故防シ

12月20日、宇津波のガタ原・交通安全記念碑前で「大宜味村シークワサー作戦」が行われました。参加者には、大宜味小・中学校(児童会・生徒会)や各区長、村建設業者会など多くの方が集まりました。年末年始は飲酒飲酒絡みの交通事故や交通量の増加による交通事故の発生が懸念されるため、村特産品のシークワサー及びチラシの配付作戦をドライバーに行い、広く村民に交通安全思想の普及・浸透を図ることにより、交通事故防止の徹底を図ることが目的です。当日は、交通死亡事故撲滅祈願の後にシークワサー及びチラシが200セット配付されました。



キラリ
おおぎみ

サイエンス部の「やんばる国立公園」プラン3位

12月10日、沖縄科学技術大学院大学にて「第5回 SCORE!サイエンスinオキナワ:起業のための研究能力」が開催され、辺土名高校サイエンス部1年生(嘉那原太一さん、宮城あゆみさん、長谷川瑠碧さん、稲福優子さん)の発表が見事3位に選ばれました。この大会は、県内の高校生が研究を続けてきたテーマについて、ビジネスや日常生活に応用するプランを提案し、起業家精神に関心を持ってもらうことを意図するとともに英語立県沖縄への取組みを支援するもので、米国総領事館や教育界及び産業界などが評価します。同校環境科では、授業や部活動で学校周辺の河川調査を行っており、その調査範囲は「やんばる国立公園」区域が一部含まれていることから「エコツアーガイドで地域活性化!〜やんばる国立公園でリバーウォッチング〜」というテーマで研究結果やガイド経験を活かした内容を全て英語で発表しました。嘉那原太一さんは「英語での発表練習を頑張って、時間内に話せるようになったが、この結果には満足していない。もっと良い結果が出せた。」と今後の活動に意欲を持っていました。また、同サイエンス部1年生は、11月の「第22回国際動物学会議・第87回日本動物学会 合同大会」でも河川調査の発表で入賞しています。



大宜味村民生委員・児童委員委嘱状交付伝達式



12月9日、役場村長室にて村民生委員・児童委員委嘱状交付伝達式が行われました。民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、各地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、社会福祉の増進に努める方々であり、「児童委員」を兼ねています。児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、見守り、子育ての不安などの相談・支援等を行います。平成28年12月からは委員人数が2人増え、5人は新たな委員となっています。

大宜味村民生委員児童委員名簿

平成28年12月1日～平成31年11月30日

役職名	氏名	担当区
1 会長	山川 清	喜如嘉
2 副会長	島田 哲夫	塩屋(兼久前・兼久後地区)
3 //	良政 代	大宜味
4 委員	山城 薫	田嘉里
5 //	平良 智恵美	謝名城
6 //	前田 朝達	饒波・大兼久
7 //	平良 政枝	根路銘
8 //	友寄 淳子	上原
9 //	宮城 桂子	塩屋(塩屋・大川地区)
10 //	宮城 勇	屋古
11 //	松本 安子	田港
12 //	真栄田 恵美子	押川
13 //	我那覇 宗徳	大保
14 //	宮城 広美	白浜・宮城
15 //	松本 富士子	津波
16 //	池宮城 むつ美	江洲
17 主任児童委員	大山 美佐子	喜如嘉・大宜味校区
18 //	千住 美和子	塩屋・津波校区

※新しく委員となった方は色塗りをしています。